

■ パリサイ人たち - イスラエルの霊的指導者

道ばたに座って物乞いをしていた、目の見えない人がイエス様に会いました。イエス様は彼の目を癒し、彼は見えるようになりました。彼がシロアムの池で目を洗い、いつもの場所に戻ると、彼を知っていた人たちは彼を見て驚きました。

「おまえは 座って 物乞い を していた 人ではないか。その目は どうやって あいたのか？」

彼は、イエス様が自分にしてくださったことを、その通りに話しました。すると、周りの人々は彼を連れてパリサイ人たちのところに行きました。この奇跡に関する解釈を聞いたかったからです。

■ メッセージのポイント

(1) 目が癒された人の最初の証言－「イエスという方が私の目に泥を塗り、私が洗いました。

それで今は見えるのです。」

(2) パリサイ人の反応－「盲目で生まれたとしたら、どうして今は見えるのか。」

(3) その両親の証言－どうして今見えているのか、だれが目を開けてくれたのか知りません。

本人に聞いてください。

(4) 目が癒された人の2回目の証言－「イエスという方が罪人かどうか私は知りません。一つ

のことは知っています。私は盲目であったのに、今は見えるということです。」